

学校再編についての意見交換会 意見等の要旨

対象：ふどうどう幼稚園保護者等

開催日時：平成28年9月27日（火）正午～

会場：ふどうどう幼稚園多目的ホール

参加者数：16人

（保護者等）

小牛田中学校と不動堂中学校が一緒になって、南郷中学校は別にあった方が良くと思う。例えば、いじめがあつて学校に行けなくなった場合に逃げ場がなくなるので、2校あった方が良い。いじめ等にあつた時の生徒の逃げ場をどうつくるのか。

（教育委員会）

そうした子どもたちの逃げ場となる小規模な学校として南郷中学校を残す案も一つの考えだと思います。しかし、南郷中学校において生徒数の減少による問題が生じている中で、小牛田地域の統合中学校の生徒の逃げ場としてのために、これまでと同様の中学校を存続させることはできません。その場合には、小牛田地域の統合中学校とは違った特色のある学校づくりを行い、両親の教育に対する考え方や生徒自身の適応能力に合わせて、2校のいずれかを町内の全ての両親と子どもたちが選択する形にしなければなりません。そして、選択した一方の中学校でいじめ等にあつた場合には他方の中学校に転校することになるのではないのでしょうか。しかし、転校だけでいじめ等の問題が解消される訳ではありませんので、こうした理由から南郷中学校を残すことは有効な対策とは必ずしも考えられません。

いじめ等の時の逃げ場、不登校の時の居場所を確保するための対策は、再編問題とは別に考えるべきではないかと思えます。そのための施設として、統合後の学校施設を活用することについては十分に考えられます。

（保護者等）

資料のパターン2（小牛田中と不動堂中だけが合併し、南郷中をそのままに残す）で決定した場合は、将来ともにその体制を続けるのか？あるいは、南郷中学校の人数が減ってきたら、施設が古くなってきたら、再編の話を再び行っていくのか。

（教育委員会）

南郷中を存続させる2校体制を期限区切って行うのか、やる限りは将来的にも継続することを基本とするのか、両方考えられます。また、後者を選択しても途中で（統合に）切り替えることも十分に起こり得ると考えます。いずれにおいても、将来の子どもたちのためにどの方法がよいかではないのでしょうか。

(保護者)

中学校が近くにあるので引っ越してきたが、場所が遠くになると・・・

(教育委員会)

場所がどこになろうとも、そのような方々に対しましては、大変に申し訳ありません。将来の美里町の教育環境を整備していくために行うものであることをご理解いただきたいと思ひます。

(保護者)

小牛田地域だけで小中一貫校はできませんか。

(教育委員会)

不動堂中学校区、小牛田中学校区でそれぞれ小中一貫校をつくれなかつたご質問と理解します。不動堂中学校区に小中一貫校をつくる場合には、不動堂小学校及び青生小学校を統合して小学校を1校にする必要があります。同じく、小牛田中学校区に小中一貫校を作る場合には、小牛田小学校、北浦小学校及び中卒小学校を統合して小学校を1校にする必要があります。こうして小牛田地区に小中一貫校を2校つくる場合には、現在ある5つの小学校を2校に統合・再編する必要があります。しかし、平成28年7月に実施した住民説明会では参加された住民から「小学校は存続すべき」との意見・要望が多くだされ、小牛田地域の小学校5校を2校に統合・再編するにはまだ相当の時間を要するものと思われまふ。

また、2つの中学校区において、小学校と中学校を一緒にした小中一貫校をつくったとしても、中学校の生徒の数には変化はありませんので、少子化の進行から一層大きくなる生徒数の減少による諸問題は解決されることはありませんので、教育委員会としては有効な対策とは考えていません。

(保護者)

工事の着工はいつからですか。

(教育委員会)

できるだけ早く進めていきたいと思ひます。平成33年4月の開校を目標としていますので、逆算して平成31年～平成32年の期間内における工事になると考えています。

(保護者)

人数の多い小学校から中学校に進学する子どもたちは別としても、少人数の小学校から中学校に進学する子どもたちの中にははじめ馴染めない子どもたちもでてくるのではないか心配です。小学校の段階から交流を持つなど、小学校におけるケアが大切と考えまふが。

(教育委員会)

小学校6年生の段階で不動堂小学校と青生小学校が交流活動を行ったり、不動堂中学校の生徒会が中心になって小学校に出向いて小学6年生に部活動の話をしたり、また場合に

よっては 6 年生が不動堂中学校に来て一緒に授業を行ったことがあります。こうした小学校段階からの交流活動を盛んにしていくことはたいへん良いことだと考えています。

(保護者)

仕事などでこうした場所に来られない方でも学校の再編に関心を持っている父兄も多くいると思います。そういう方の意見をくみ取るのにはどのような方法を考えていますか。

(教育委員会)

様々な曜日、時間帯でこのような意見交換会を多く設けていくこと、それから、チラシを配って教育委員会の考えを伝えて、それに対する保護者等の意見を用紙に書いて教育委員会に出していただく方法など、できる限りの方法を考えていきたいと思っています。

(保護者)

3 校を 1 校にするなら、逆に南郷の方に 1 つにまとめてしまうのもどうですか。施設もあるので、施設を建てない分をスクールバスの費用に回して、綿密な運行をしてもらえれば。

(教育委員会)

一つの考え方だと思います。学校の位置が中央であれば東西の 2 方向にスクールバスを運行させることになりますが、東側(南郷)に寄せた場合にはスクールバスの送迎が西側からのみになり効率的かもしれません。しかし、西側に位置する北浦、中塚、青生地区の生徒は一層距離が遠くなるという問題も発生してきます。

また、南郷地区の施設を活用することも非常に良い考えだと思います。しかし、現在の南郷中学校の校舎だけでは教室数が足りないので増設する必要がありますが。

(保護者)

小学校 1 年生の授業参観の時に、60 人くらいの子どもたちでしたが、それでも先生の言うことをきかないでワーワーとした状態でした。多くなってくると言うことをきかない子どもも多くなるでしょうから、その辺について先生たちは統制がとれるのでしょうか。

(教育委員会)

人数が増えれば配慮を要するお子さんも多くなるでしょうが、そこはやはり教員の指導力の問題です。

(保護者)

30 人未満学級にして先生を増やすとありましたが、それは小学校でもしていただくことはできるのでしょうか。

(教育委員会)

町の財政とのかかわりもありますが、教育委員会としては小学校においても 30 人未満学級が必要と考えていますので、小学校においても 30 人未満学級を目指していきます。